

第5期横浜市港南区地区センター 第2回指定管理者選定委員会 議事録	
開催日時	令和8年8月10日（月） 午前9時00分～午前10時15分
開催場所	港南区役所5階 特別会議室
出席者	小室委員、長沼委員、藤崎委員、宮島委員、宮田委員（計5名）
欠席者	無し
開催形態	公開（傍聴人なし）、議題2（審議）から非公開
議題	はじめに（横浜市港南台地区センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査・審議	1 港南台地区センター面接審査について 1団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は資料のとおり。 【プレゼン概要】＜応募資料 株式会社有隣堂＞ ・地区センターの設置目的や区政運営の基本目標を基に「人と情報が集まる交流の場」として運営していく。 ・本部の全面的なバックアップにより、会計報告を通じた厳格な予算管理や業務のデジタル化支援を行う。 ・研修計画については、子どもや高齢者など多様な利用者に配慮した研修や個人情報保護、コンプライアンス研修を行う。また、館長会等により情報共有や意見交換による業務改善を図る。 ・港南台地区センターの地域特性をふまえ、5つのニーズを柱とした運営をする。例えば、図書の貸し出し冊数が市内地区センター第1位である実績をふまえ、引き続き図書の充実と読書環境の整備を図る。 ・地域コーディネーターとして、日常的な情報交換や地域住民の「やってみたい」という想いを受け止める相談窓口に取り組み「地域の人と情報が集まる場・交流の場」を創出する。 ・指定事業では「趣味・教養」「子ども・子育て」など5つのテーマを設定し、大学等とも連携しながら、参加者の地域生活の支援に繋げていく。 ・自主事業では書店としての強みを生かし、文房具等の販売やイベントに合わせた書籍や物品の販売を行い、地区センターを訪れたくなるよう工夫して運営する。 ・今後の増収策として、空き室活用や講座参加者のサークル化の支援に取り組む。既存の利用団体の定着を図るとともに、個人利用をきっかけとした新規の団体利用を促進し、施設全体の稼働率と利用料金収入をさらに向上させる。得られた収益は利用者サービスへ還元していく。 【主な質疑内容】 ＜委員＞ 公の施設としての管理の中で、障害のある方への適切なサポートについて「負担のない範囲で」とあるが誰に対して述べているのか。 ＜回答＞ 障害のある方と運営スタッフの双方を想定している。利用者の気持ちに寄り添いながら自然にサービスを提供していきたいという趣旨である。特に、初めて地区センターに来られた方は困りごとがあっても職員に声をかけづらいと考えている。職員が自発的に声をかけてコミュニケーション

ョンが生まれるような運営をしていきたい。

<委員>

地区センター職員の行動基準はどのような内容か。

<回答>

コンプライアンスに関する内容が記載しており、名札の中に携帯している。

<委員>

地区センターだよりについて、港南台地区の自治会町内会数は相当数あるがこれを各単会に配付している点は評価できる。カラー印刷のほうが読みやすいのではないか。

<回答>

配付枚数が多いため、現行どおり白黒印刷での配付を予定している。

<委員>

他の地区センターではLINEを活用した講座の申込募集も行っているようだが、港南台地区センターで導入予定はあるか。

<回答>

港南台地区センターでも導入を検討している。

<委員>

駐車場について詳しく教えていただきたい。

<回答>

駐車場は一般利用者向けの22台と優先利用者向けの3台がある。利用される部屋ごとに駐車場を割り当てて、地区センターで管理運用している。

<委員>

港南台地区センターの強みと弱みを伺いたい。

<回答>

貸室の利用率が70%を超えており、地区センターの中でも上位を占めている。得られた利用料金収入の1/3を利用者に還元する方針で設備更新に充てるなど、施設の築年数のわりにはきれいな施設を保っている。

<委員>

駐車場がある地区センターは利用者にとっても有難い。また、連合自治会の定例会にも参加していると聞いているが、もしそれがなかったらどうか。

<回答>

連合自治会と顔が見える関係を築くことで、地域に関する情報を提供いただいたり施設へのご要望をいただいたりすることがある。引き続き継続していきたい。

<委員>

利用料金の改定を予定していると提案書には記載があるが、それに対してどのようなサービス向上を検討してるか。

<回答>

地区センターの老朽化に伴う対応や備品の更新に充当し、安全かつ安心してご利用いただけるよう対応したい。

<委員>

利用料金の改定により、利用者が減ることも想定されるがそれに対してはどう考えているか。

<回答>

他区で増額改定した地区センターもあるのでその辺りの状況も踏まえながら、一時的な利用者の減や増（戻り）に対応していきたい。

<委員>

稼働率が高いようだが、施設や備品に関する更新の優先順位はどのように考えているか。

<回答>

例えば、卓球台は毎年1台ずつ更新する。危険性が高いものや利用者が不便に感じているものを優先して更新していく。

	<委員> D X化による利用促進策に、デジタルサイネージの活用等が挙げられているが、導入前後での活用効果はいかがか。 <回答> 例えば、館内には講座に関する案内チラシを掲示しているが、種類が多いため複数箇所に分けて掲示している。デジタルサイネージであれば一か所でまとめて放映されるので、より多くの方に見えていただけることで利用促進に繋がると考えている。 2 審議 【委員意見】 ・民間企業のノウハウを生かした運営がされているのではないかと思います。 ・図書の貸し出し数について、デジタル化やSNSの進展もあり読書機会が減っている昨今において、他の地区センターと比べて約4倍という実績は高く評価できる。 ・指定事業が多彩で魅力的な内容が多い。 ・港南台地区は小・中学校がたくさんあり、地区センターとしても子どもや子育て関係に力を入れているとのことだったが、近隣の学校とのつながりが見られなかった。 ・他の施設と比べ立地条件が良く、駐車場を利用できる点は施設の利用向上に繋がっている。 ・駐車場について、様々な施設で有料化が進められている中、港南台地区センターはいつも満車状態である。有料化を検討してもいいのではないかと思います。 ・地区センターだよりについて、読み手に対して工夫が必要ではないか。 ・利用料金の改定を見込んでいることに対しては、もう少し具体策などきめ細やかな説明が求められる。利用料金の改定による利用者の減がどのように影響するか懸念がある。 ・近隣施設も多いので、施設間の連携による質的な向上が見込まれるのではないか。 ・財務状況については、売上・利益は回復傾向にある一方、書店業の構造的な問題もあり財務基盤には課題が残る。今後は、自社の強みを活かした多角化経営を進め、収益力を高めていくことが重要だと考えられる。
審議結果	・株式会社有隣堂を横浜市港南台地区センター指定管理者の指定候補者とする（776点/925点）
特記事項	特になし